発言通告書（総括表）

令和８年第４回定例会　**一般質問**

No.	発　言　者	発　言　事　項	発　言　要　旨	答弁を求める者
1	田中議員 （国　民）	新たなデマンド交通の構築と、区民の移動の選択肢拡充について 実効性のある環境美化対策と清潔で安全な公共空間の維持管理について	･新たな公共交通サービスによる移動の選択肢の拡充 ･自宅と交通結節点までのファースト・ラストワンマイルをつなぐ公民連携したデマンド交通の可能性 ･移動をためらう区民のファースト・ラストワンマイルの負担軽減と外出促進策 ･高齢者から子育て世代まで、幅広い世代に利用される移動手段の確保 ･ポイ捨て禁止条例の実際の運用状況と課題 ･ボランティア依存からの脱却と、行政主導の巡回清掃員の配置など ･落書きやシール被害を防ぐ防汚素材の導入など、都市インフラの維持管理 ･不法投棄対策としての防犯カメラ活用 ･街の美観を保つための「ごみ収集箱」の計画的な設置	区　　長 関係理事者
2	永田議員 （自　民）	インフレ時代の積極財政について	原材料費高騰による「コストプッシュ・インフレ」は賃上げを伴わず、中小企業の減収や家計を圧迫し景気低迷に繋がっている。需要増加によるインフレ「デマンドプル・インフレ」ではない、潜在的デフレ状況下においては、緊縮財政や金融引き締めではなく、積極財政での公共投資が必要となる。来年度より食料品の消費減税（実質０％）が進められているが、本区としても積極財政の方針を明確にして、区民の生活、事業者の経営を支援する予算編成が必要ではないか。	区　　長 関係理事者

発言通告書（総括表）

令和８年第４回定例会　**一般質問**

No.	発　言　者	発　言　事　項	発　言　要　旨	答弁を求める者
3	小林議員 （自民党）	１　区民サービス向上に向けた区役所窓口改革について	①窓口手続における待ち時間、申請書記入、複数窓口への移動等の現状と課題について ②職員による窓口手続の体験･業務改善研修について ③北海道北見市「らくまど」等の先進事例の調査･研修について ④「書かない・待たない・回らない窓口」の実現に向けた検討について	区長 教育長 関係理事者
		２　ウォーカブルシティの推進と内神田から神保町への歩行者動線の形成について	①内神田の再開発等に伴う歩行者動線の変化と区の認識について ②人道橋を生かした丸の内・大手町から神田、神保町への回遊性向上について ③歩行環境の整備と商店街・地域経済の活性化について ④再開発事業者、道路管理者、地域団体等との連携について	
		３　幼児教育における保護者負担の公平性と私立幼稚園への支援拡充について	①区立幼稚園、認可保育園等及び私立幼稚園の基本保育料に対する公的支援と保護者負担の現状について ②私立幼稚園の園ごとに異なる諸経費の現状と、それを踏まえた、わかりやすい保護者負担軽減の在り方について ③公立と私立の均衡を図ることについての基本的な考え方について ④千代田区在住の私立幼稚園児を対象とする保育料補助の拡充について	

発言通告書（総括表）

令和８年第４回定例会　**一般質問**

No.	発　言　者	発　言　事　項	発　言　要　旨	答弁を求める者
４	はやお議員 （自民党）	1．番町・麹町エリアにおける公共施設の需要状況と老朽化対策について 2．四番町複合施設の開設等に伴う公共施設需要の変化と新たな施策について	共同住宅の建設等により定住人口の増加が続く番町・麹町エリアでは、既存の公共施設の容量逼迫や経年劣化への対応が急務となっている。このエリア特有の課題を踏まえ、以下の点について伺う。 (1) 最新の人口動態や将来推計を踏まえた、同エリアにおける計量的な公共施設需要の現状と今後の見通しについて問う。 (2) 純増する高齢者層への対応（いきいきプラザ一番町の大規模修繕期間中の代替機能確保を含む）及び子育て・教育環境の整備（築 60 年前後が経過する番町小学校・幼稚園の建替えや、九段中等教育学校の大規模修繕等）の進捗と今後の対応方針について問う。 保育園・児童館・図書館・集会室等の機能を備える四番町複合施設の開設は、同エリアの公共施設不足を補う重要な転機となるが、施設間の機能分担や新たな地域ニーズへの対応も求められる。これらを踏まえ、以下の点について伺う。 (1) 四番町複合施設が開設されることにより、番町・麹町エリア全体の公共施設需要がどの程度解消され、また利用者の流れや需要構造にどのような変化が生じると見込んでいるか問う。 (2) 開設後の需要変化や、同複合施設だけではカバーしきれないエリア内の課題（多世代交流、防災拠点機能、改修工事に伴う一時的な受け皿など）を踏まえた新たな施策の必要性について見解を問う。また、必要性があるとするならば、その具体的な方向性について問う。	区長 教育長 関係理事者

発言通告書（総括表）

令和８年第４回定例会　**一般質問**

No.	発　言　者	発　言　事　項	発　言　要　旨	答弁を求める者
5	えごし議員 （公　明）	高齢者の孤独・孤立対策 ひとり親家庭支援の拡充	高齢化や、一人暮らし、身寄りのない高齢者の増加に伴い、高齢者の孤独・孤立を防ぐ取組が求められている。国は、地域での見守りや交流の機会の充実、日常生活に対する相談体制など進めている。 本区でも様々な相談・傾聴支援が行われているが、悩みや不安、何気ない会話などを誰かに聞いてほしいと感じた時に、時間を気にせずいつでも気軽に話せる機会の確保も重要と考える。本区の相談支援の現状を確認するとともに、傾聴サービスなどの拡充について区の見解を伺う。 ・本区の高齢者への相談・傾聴支援について ・ＡＩによる傾聴サービスについて ひとり親世帯や、これからひとり親となる方は、子育てや仕事、住まい、経済的な問題など、様々な不安や課題を抱えている。 本区でも相談窓口が設けられ、様々な支援が行われている。本区の現状や課題を伺うとともに、さらなる支援の拡充について考えを伺う。 ・集中相談事業について ・夜間、土日･祝日の相談支援について ・これからひとり親となる方への支援について ・食料など生活支援について	区　　長 教　育　長 関係理事者

発言通告書（総括表）

令和８年第４回定例会　**一般質問**

No.	発　言　者	発　言　事　項	発　言　要　旨	答弁を求める者
6	白川議員 （自　民）	「(仮称)千代田区多文化共生推進プラン」の考え方について ・区内には約 70 の国と地域の方が暮らし、その半数以上が中国籍。 ・策定委員会資料は、「国籍を問わず、すべての区民が地域のルールを理解し、守ることが重要」と明記。 ・だが、ルールを明記し、周知すれば、それで共生が成り立つわけではない。 ・「価値観」が複数あると社会が混乱する。 ・規範は、土台となる基準が一つに定まり、周囲と共有されて初めて保たれる。 ・政治に唯一の正解はない。 ・社会の維持には先達から受け継いだ連続性を守ることが重要。 ・多文化共生は、きれいごとではすまない難事業。 ・共通の価値観こそが、社会秩序の土台である。 ・国や都も動いているが、区も一定の対策が必要。	（１）プランの基本理念について、策定中のプランの基本理念に、「地域のルールの遵守」に加えて、個人の尊厳、男女平等、法の下の平等といった憲法の基本原則と、地域社会を支えてきた基本的価値観を、国籍を問わず全ての区民が共有する共生の基盤として明記し、素案に反映する考えはあるか。 （２）日本社会への理解を深める具体的な施策について、国が学習プログラムの創設を打ち出していることを踏まえ、区として、日本語や生活ルールに加え、地域の歴史や慣習、憲法の基本原則を学ぶ機会を、プランの具体的な施策として位置づける考えはあるか。たとえば、転入時のオリエンテーションや、町会と連携した地域参加の取り組みなどが考えられる。 （３）実態把握と見直しについて、意識・実態調査の結果を踏まえ、生活上の摩擦や行政上の負担、日本語習得や地域参加の状況を継続的に把握する指標をプランに設け、定期的に公表し、その結果に基づいてプランを見直していく考えはあるか。また、課題が確認された場合、東京都と同様に、特別区長会などを通じて国に制度の見直しを求める考えはあるか。	区　　長 教　育　長 関係理事者

発言通告書（総括表）

令和８年第４回定例会　**一般質問**

No.	発　言　者	発　言　事　項	発　言　要　旨	答弁を求める者
7	牛尾議員 （共産党）	① 高齢者の住まいについて	・高齢者優良賃貸住宅の家賃補助、サービス料への補助等を求める ・サービス付き高齢者住宅について ・「住み続けたい」との願いにどう応えていくのかと問う	区長 教育長 関係理事者
		② 家庭ごみの有料化について	・小池都知事が明らかにしている２３区での家庭ごみ有料化について ・最終処分地の延命のために再開発のあり方も見直すべき ・ごみの減量をどのように進めていくのかを問う	
		③ ひとり親世帯への支援について	・ひとり親世帯への支援の強化を求める	
8	おのでら議員 （次世代）	ＰａｙＰａｙ商品券の取り扱いについて	・本区ではふるさと納税の返礼品と私立学校等就学者支援電子商品券交付事業「ちよだＢＲＩＤＧＥ」においてＰａｙＰａｙ商品券を交付している。利用可能店について登録・選定、利用者・店舗への周知方法や利便性に課題がある。改善策や取り扱い見直しの可能性について伺う。	区長 教育長 関係理事者
		基金の運用について	・令和７年度末において基金の残高は１，２００億円超に達しているが、その運用利回りは他自治体と比べやや低い。インフレが進む環境下において実質的な基金価値の目減りを防ぐためにも従前よりもリスク管理や情報収集を適切に積極的に行いながら利子収入を増やすことが必要と考える。リスク管理の体制整備、運用先の選別、預金・債券の比率、運用先・運用実績の情報公開等について区の見解を伺う。	

発言通告書（総括表）

令和８年第４回定例会　**一般質問**

No.	発　言　者	発　言　事　項	発　言　要　旨	答弁を求める者
9	桜井議員 （自　民）	○国立劇場の建て替えについて	○建物の老朽化のために令和５年１０月末に閉館となったが、その後二度にわたる入札不調を経て第三回目の入札が進められているが、未だ結果は公表されていない。 ○最終的な引き渡しは令和１８年まで伸びる可能性があるとするが伝統芸能の保存、振興の上からも、この１０年間は大きな損失と言わざるを得ない。 ○本区にある国立劇場がこの機を逃さず、無事に建て替えを終え、確実な整備、運用が叶うよう、地元自治体として国及び関係機関へ要請すべきと考えるがどうか。	区長 教育長 関係理事者
		○新たな学校教科書について	○本年６月に改正学校教育法が成立し、これまで代替教材だったデジタル教科書が正式な教科書として位置づけられることになった。 ○子供たちが夢と希望を持って新たな世界を学ぶ上に於いて最適と思う教材とは何か。区はどのように考えるか。 ○デジタルや紙の教科書のメリット、デメリットをどのように捉え、今後の教材として生かしていこうと考えているか。 ○デジタルや紙の教科書のそれぞれが、利点を生かしつつ、子供達の独自性を大きく生かすことのできる学習をしてもらいたい。	
		○本区の水防対策について	○毎年、全国で台風や線状降水帯による豪雨が発生し全国各地で水害による被害が報告されている。 ○近年の豪雨災害の特徴は短時間に、処理能力をはるかに超えた雨が降り、浸水被害を始め道路の陥没、土砂災害など命に係わる災害となっている。 ○本区の地形は台地と低地の高低差から豪雨時には低地に水が集中し地下施設に流れ込むことが考えられ、大きな被害に繋がる心配がある。 ○本区も毎年起こりうる豪雨災害に対応し一時的に雨水を貯めることができる雨水貯蔵施設の整備を検討してみてはどうか	

発言通告書（総括表）

令和８年第４回定例会　**一般質問**

No.	発　言　者	発　言　事　項	発　言　要　旨	答弁を求める者
10	大坂議員 （自民党）	・放置自転車対策 ・新スポーツセンターの整備と小川広場の活用	本区では、これまで放置禁止区域の指定、警告・撤去活動、駐輪場の整備等様々な対策に取り組んできている。しかしながら状況は改善せず、区内主要駅での放置自転車は近年増加傾向である。 東京都全体でみると放置自転車の数は１６年連続で過去最少を更新し続けているにもかかわらず、なぜ本区では増加しているのか、これまで行ってきた対策の成果と今後の対応策について問う。 第３回定例会の招集挨拶において、小川広場をスポーツセンター建て替え期間中の代替施設として検討する考えが示された。これによりスポーツセンターの建て替えは大きく前進するものと期待し、以下の点について伺う。 ① ５０年先を見据えたスポーツセンター整備の在り方。 ② 建て替え期間中のスポーツ機能と防災機能の確保について。 ③ 小川広場の代替施設整備の検討状況	区長 関係理事者

発言通告書（総括表）

令和８年第４回定例会　**一般質問**

No.	発　言　者	発　言　事　項	発　言　要　旨	答弁を求める者
11	のざわ議員 （維　新）	1.高齢者の尊厳と生きがいを守る多世代共生社会の実現及び災害・犯罪に強い千代田区の構築について	(1)75 歳以上の高齢者の尊厳と生きがいを支える「千代田区シニア・ウェルビーイング支援制度」の創設 ①区は、高齢者の外出機会、社会参加、孤独・孤立の状況をどのように把握し、既存事業の効果を検証しているか？ ②75 歳以上の高齢者を対象に、月額 1 万円相当の理美容利用券及び月 20 枚、総額 1 万円相当の喫茶店利用券について、まずは希望者を対象としたモデル事業を実施し、健康面、社会参加、地域経済への効果を検証する考えはいかが？ ③既存の高齢者支援制度との重複を整理し、所得状況や利用実態を踏まえ、持続可能な財源を確保した新たな高齢者の生きがい支援制度を構築する考えはいかが？ (2) 親孝行と多世代交流を促進する「家族ふれあい食事券制度」の創設 ①高齢者と家族・地域住民との交流機会を増やす施策について、どのような課題を認識？ ②75 歳以上の区民を対象とする年間 4 万円相当の「家族ふれあい食事券制度」を、新たな多世代交流施策として検討は？ ③区内飲食店との連携により、福祉政策と地域経済政策を一体化させ、利用者満足度、交流機会の増加、商店街への経済効果を検証するモデル事業を実施は？ (3)地域防災訓練の実効性向上と補助制度の拡充 ①区内の町会、マンション、事業所等における防災訓練の実施率、参加率及び未実施団体の状況を、区はどの程度把握？ ②既存の資器材購入補助に加え、町会・マンション・事業所が合同で行う実践型防災訓練について、企画費、講師費、訓練資材費等を対象とする補助制度を新設・拡充は？ ③「千代田区地域防災力向上プログラム」を構築は？ (4)マンション等への防災井戸設置促進と災害時生活用水の確保 ①既存の災害時協力井戸の設置数、分布、使用可能性及び災害時の生活用水の確保量の把握・検証は？ ②マンション管理組合や事業所等を対象に、防災井戸の新設・改修、非常用ポンプの設置、水質検査及び維持管理等を支援する補助制度の創設は？ ③災害時協力井戸の拡充と、区民が利用できる生活用水供給拠点のネットワーク化は？ (5)不審者情報の共有と 24 時間対応を見据えた地域安全相談・駆けつけ体制の強化 ①区民から寄せられる不審者情報、住居周辺の不安、防犯に関する相談について、区は現在	区長 関係理事者

発言通告書（総括表）

令和８年第４回定例会　**一般質問**

No.	発　言　者	発　言　事　項	発　言　要　旨	答弁を求める者
11	のざわ議員 （維　新）	1.高齢者の尊厳と生きがいを守る多世代共生社会の実現及び災害・犯罪に強い千代田区の構築について	どのように情報を集約し、警察等と共有し、対応結果を検証は？ ②既存の安全・安心メールや相談窓口を発展させ、電話・デジタル双方に対応するワンストップ相談体制を整備し、夜間・休日を含めた相談受付の拡充は？ ③警察、民間警備事業者、マンション管理会社、町会等との協定を通じて、緊急性に応じた現場確認や見守り支援を迅速に行う仕組みを構築するとともに、個人情報の保護、対応時間、費用対効果を検証するモデル事業を実施は？	区　　長 関係理事者
12	入山議員 （次世代）	・消費税減税に伴う千代田区の外食産業への影響と地域経済への支援について ・火葬場の利用･整備と区民の負担軽減に向けた東京都･関係区との連携について ・神田と大手町の回遊性と安全性の向上に向けた道路環境の整備について	１区内外食産業への影響と実態把握について ２中小飲食店の事業継続支援について ３国及び東京都との連携について １公営火葬場の共同整備と区民の利用機会の確保について １　大手町ゲートビルディング前の横断歩道の新設について ２　神田駅前の中央通りの道路環境について	区　　長 関係理事者
13	岩田議員 （次世代）	学校徴収金について 区内の歩道に設置されている路上喫煙禁止の路面サインについて	現在千代田区では令和５年11月から学校給食費を全額補助しておりますが、学校徴収金について過去に保護者の未払いなどで資金不足が生じた場合はどのように処理していたのか。 給食費だけでなく教材費や修学旅行費なども含め、校長や学校の職員などに支払いを求めるようなことは無かったか。 区が交換作業をしているのは知っているが、どのような順番でどのようなタイミングで交換をしているのか。半年以上前のＸでは経年劣化により滑りやすくなっているとの周知があったが、非常に危ない状況は変わらない。区内全てのサインが滑りにくい路面サインに替わるのはいつなのか。	区　　長 教　育　長 関係理事者